

目次

田上時子のエッセイ デカンショ生活に憧れて	1
特集 宝塚市立男女共同参画センター・エル リニューアルオープン 指定管理制度スタート! 所長 木崎いずみ ・スタッフ紹介.....	2~3
活動報告 大阪府ソーシャルスキルアップ実践のための研修/大阪府い じめ対策事業/大阪府学校出前研修/非暴力ワークショップいじめバ ージョン/まつばら学校エンパワメント事業/枚方市こどもエンパワ メント支援事業/スター・ペアレンティング 講演会&ワークショップ 宝塚市立男女共同参画センター主催 CAP子ども・おとなワークショップ	4 5
リレーエッセイ 生駒泰子/高木美幸.....	6
講座インフォメーション.....	7
会員の紹介・入会のおさそい.....	8
編集後記.....	8

田上時子のエッセイ

デカンショ生活に憧れて

縁あって、篠山市宮ノ前の週末住人になった。

「宮ノ前」とは、丹波の祇園さんとして古くから知られた波々伯部（ほおかべ）神社の前にある戸数30戸の小さな集落。

波々伯部神社は篠山市街地から8キロ、篠山城から2里のところであり、京都へ続く主要道路、デカンショ街道が集落の中を通っている。丹波篠山はデカンショ節発祥の地。

「デカンショ」の語源には諸説あるが、明治中頃、東都に学ぶ学生たちが、デカルト、カント、ショーペンハウアー等の哲学者の名前の頭文字をとったものといわれたのが有力。王地山公園では午後3時の時報にデカンショ節が流れる。

デカンショデカンショと半年暮らす

(アヨイヨイ)

あとの半年寝て暮らす

(ヨーオイ ヨーオイ デッカンショ)

踊り踊るなら浮かれて踊れ

あすの仕事はあすのこと

心はデカンショ生活に憧れ、実現できないのがじれったい。

思えば、この19年間一度も休みなく、女性と子

どものエンパワメントに努め、子どもとその親の支援のための活動を精力的に行ってきた。少々過労気味である。だからといって長い休みなぞ望めない。近場で自らのエンパワメントをと、宮ノ前に受け入れてもらった。

「ピリピリしていない」「笑顔ばかり」の集落人たちとの出会いは愉快であり、山や田や里や地の自然に癒される。

そして、次なるプロジェクトとして、女性や子どものための保養所を田舎で作りたいと考えている。子どもの虐待やDVで傷ついた女性や子どもの心の回復のためにぜひ田舎人と自然の力を借りたいと思っている。よろしく願いいたします!